

私がこの研修に応募した理由は主に2つあります。1つ目は、今まで私が学んだことの無い世界のエネルギー事情について学ぶことで、自分の視野を広げ、様々な面から問題にアプローチする力をつけることです。2つ目は、海外の同世代の人々と交流をすることで自分の語学力やコミュニケーション能力を試し、さらに向上させ、また、自分とは異なる文化で生きる同世代の人々が自らの将来についてどのような意識を持っているのか知ることです。私は自分の知らない世界を知り、また自分の能力がどれくらいあるかを知り、大きく成長したいという強い気持ちを持ってこの研修へ応募しました。研修へ参加するメンバーに選ばれ、国内で2回行われた事前研修では、原子力関連施設の見学や放射線に関する学習・実験、エネルギーディスカッションや日本の紹介のためのプレゼンテーションの準備・練習、英語での自己紹介の練習など普段の生活では鍛えられることのない能力を磨いてから出発することができました。

私はこの研修に参加するまで原子力発電や世界・日本のエネルギー事情に興味を持ったことがほとんどありませんでした。2011年の事故の時も漠然と危険なものだという印象だっただけで、何がどんな風に危険なのかも知りませんでした。事前研修会での東通原子力発電所と原子燃料サイクル施設の見学をはじめ、自分でも原子力発電のメリット・デメリットについて勉強したことで、自分はどういう立場で原子力発電を考えるべきか、改めて自分の考えを整理することができました。研修1日目のスウェーデン大使館とフランス大使館の訪問では各国のことを詳しく知り、また、自分が青森のそして日本の代表として出発するという自覚を持つことができました。訪問の際、将来の夢を聞かれ、その時に堂々と自分の夢を言うことができ、達成感を感じたことがとても嬉しかったです。事前研修や大使館訪問は後に続く研修に対する意欲や自信を高められるものになりました。

フランスとスウェーデンでの原子力関連施設見学で私が強く感じたことは、安全性に対する信頼度の違いです。日本と比べて地震が少ないことも原因に挙げられますが、自分の会社の設備や仕事に大きな誇りを持っている姿が印象的でした。

また、フランスとスウェーデンの施設を見学して、改めて日本の安全基準の厳しさを感じました。今回の研修に参加して、今までは電気を使う側としてしかエネルギーを考えたことがありませんでしたが、研修を通しエネルギーのベストミックスや各発電法のメリット・デメリットを知り、また各国の取り組みを知り、作る側としての視点からエネルギーについて考えることができました。

環境モデル先進地区であるロイヤルシーポートの見学は、私にとって今回の研修の中で最も参考になりました。将来環境系の研究職を目指している私にとって、とても興味を引かれるものであり、強い意欲を持って参加しました。モデル地区として大規模かつ大胆に行われる取り組みはどれも革新的なものばかりでした。たくさんの取り組みの中で、特に私が注目したのは真空パイプを利用したゴミ収集システムと夏の暖かい空気を地下250mに貯蔵

し冬に利用する計画です。ソーラーパネルや緑を増やすなど日本でも行われている取り組みとは全く違って新しいもので驚きました。日本ではあまり大規模な取り組みは行われておらず、空気を貯蔵するという考えも斬新で、この見学は私の視野を今までの何倍も広げてくれた実りあるものとなりました。また、2040 年までにディーゼル車の使用を廃止するなどの具体的な目標を明示している点も見習うべきだと思いました。今回の見学からほかの国々の取り組みにも興味を持ったので、これからもたくさん学びたいと思います。

フランスとスウェーデンの高校生との交流で最も強く感じたことは、言語能力の差です。どちらの国も自国の言葉はもちろん、英語は日常会話が難なくできて、さらに 3 カ国語目として日本語を学んでいる生徒たちでした。特にスウェーデンの高校生たちは友達と話すときも英語を頻繁に使っていました。質問してみると、学校で丸 1 日英語のみを使用して討論をする日があり、また授業でも英語でディスカッションを行っていて、英語で話すことへの抵抗が全くないと話してくれました。どちらの国の生徒たちもディスカッションでとても積極的で自分の主張をはっきりと伝えてくれました。私も自分の主張がどうやったら相手に伝わるか考えながら積極的にディスカッションに参加することができました。そして、どちらの国も学習への意識がとて高くて驚きました。私と同じく研究者を目指している生徒と仲良くなり、たくさんの事を話しました。とても考え方が柔軟で、海外の研究者たちが優秀だと言われる理由が少し分かった気がします。

今回の研修で私の世界は、私を取り巻く環境という意味でも、私の視野という意味でも大きく変わりました。私が今まで持っていた漠然とした世界の輪郭がはっきりと太い線で形作られていくような体験でした。私はこの研修で初めて海外へ行きました。海を超えた先にある。違う人種の人々が住んでいる。この目でみて、この耳で聞いて、全身で感じた世界はありきたりな台詞になってしまいましたが、とても広くて大きかったです。エネルギー・文化交流以外でも、その国の歴史ある建造物を見たりその土地の料理を食べたり、英語で自分から話しかけたりと大変貴重な体験をしました。モンマルトルの丘に行ったとき、広場で話しかけてもらった絵描きさんから買ったエッフェル塔の絵は宝物です。飛行機で自ら隣の席の人に話しかけたりレジの店員さんに話しかけたりと、以前よりとても度胸がついたと思います。私はこの研修でたくさんのものを吸収しました。本当に人生の糧となりました。この研修に関わる全ての方々への感謝でいっぱいです。この体験を大切にして、これからの将来に大きく役立てたいと思います。